

(4) 学校教育学部

④ 学びのひろば

ア 運営・活動の状況

i) 学びのひろば支援部会設置の趣旨（目的）及び組織

学びのひろば支援部会は、教員養成学部における教職を志す学生の教員としての実践的指導力育成に資するため、学生が種々の体験活動を通じて、子ども達とふれあい、子どもの気持ちや行動を理解できる機会を設けることを目的に教務委員会の下に専門部会として設置されており、「学びのひろば」の学生事務局指導教員及び各クラブ顧問教員の計12人で構成している。

ii) 支援部会等の開催状況

令和3年度においては、4月5日（月）に新入生オリエンテーションの資料として「学びのひろば」パンフレットを配付したほか、4月24日（土）にガイダンスを実施した。また、学びのひろば支援部会を以下のとおり2回開催した。

- ・ 第1回 令和3年5月14日（金）
- ・ 第2回 令和4年3月14日（月）

iii) 審議された主な事項

- ・ 令和3年度学びのひろば実施計画
- ・ 令和3年度学びのひろば活動状況
- ・ 令和4年度学びのひろば活動計画

iv) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの活動を実施することが非常に困難であった。活動の可能性を検討し、地元児童を11月・12月に招いて活動を実施した。また、6月・7月には大学生のみでの活動を実施した。実施状況は、次のとおりである。

- ・ 第1回 令和3年6月5日（土）、6日（日）
- ・ 第2回 // 7月3日（土）、4日（日）
- ・ 第3回 // 11月6日（土）、7日（日）
- ・ 第4回 // 12月4日（土）、5日（日）

イ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

平成10年度から始まった「学びのひろば」の活動が地域に定着しており、例年300人を超える地域の小学生が参加している。令和3年度は近隣4校のみの小学生を参加対象とするなど、可能な範囲での活動を行うことで、今後の活動の継続性を確保した。

ii) 今後の検討課題等

学びのひろばの支援体制について、各クラブ顧問教員等の確保が課題であるとともに、「学びのひろば」における体験的活動を今後も継続して実施するため、感染症対策を含め、参加学生・児童の安全管理体制の充実を図る必要がある。